



フィッティングとは…



フィッティング

フィッティングとはメガネをお客様の顔の適切な位置に快適にかけられるようにすることです。

フィッティングが良くないとレンズが正しい位置に安定せず、見づらさや疲れ、時には肩こりや頭痛を引き起こすこともあります。

その前に知っていただきたいこと

正しくフィッティングできるフレームを選択することが重要です。顔に対して大き過ぎる、小さ過ぎるフレームでは、フィッティングが困難です。また、テンプル（耳にかかるつるの部分）の長さ、鼻パッドの形状などの確認も必要です。度数、レンズによってもフィッティングの難易度が変わります。

ぜひ、店頭係員と相談の上フレームを決定してください。お客様の好みを伺った上で、良く似合いメガネの機能を十分発揮できるものをご提案させていただきます。

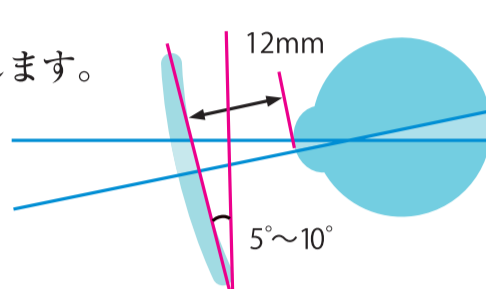
レンズ加工前のフィッティングの手順

1 フレームの位置の調整

顔幅を左右それぞれに合わせて、テンプル開きを適切に調整します。鼻パッド[鼻あて]を鼻の角度に合わせて調整します。テンプル先端部分[耳にかかる部分]を適切な位置、角度に調整します。

2 目とレンズの距離[頂間距離]の調整

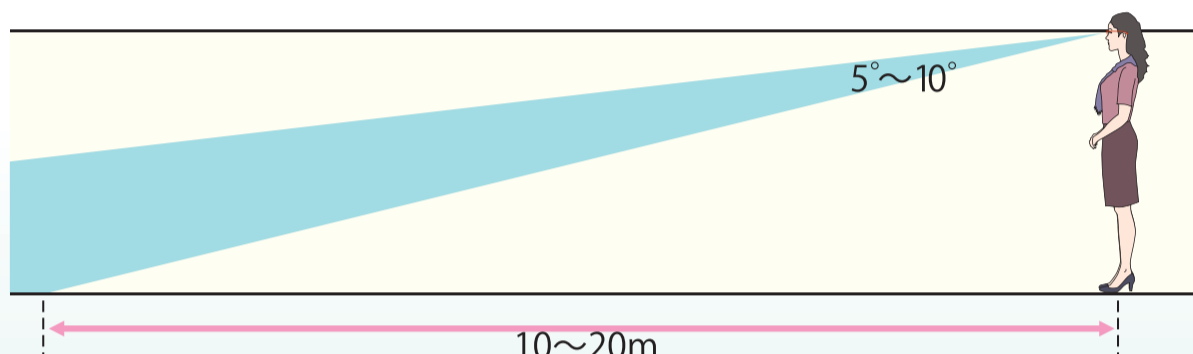
視力チェックは、レンズの裏面角膜[黒目部分]頂点の距離を12mmに設定していますので、左右とも均等で12mm付近になっているかを確認します。



3 適切な傾斜角の調整

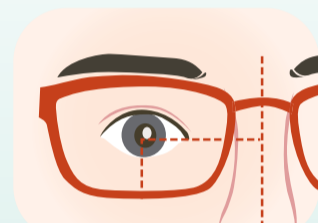
レンズの面が視線[常用視線]と直交するようにフレームフロント面に角度[前傾角]をつけます。

※常用視線：水平視線より5~10°下方に傾いた視線。眼の位置を調整する筋肉[外眼筋]が最も楽な視線位置といわれています。



4 レンズ中心位置の設計

水平方向のレンズ中心はフレームの中央を基に計測し、上下方向[中心の高さ]のレンズ中心はフレーム下辺を基に計測し、決定します。



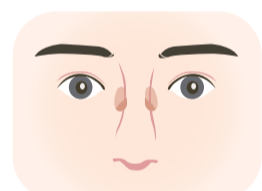
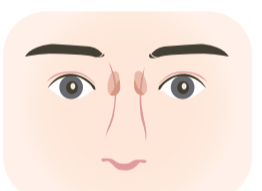
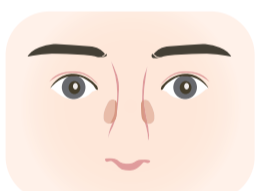
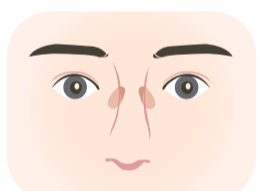
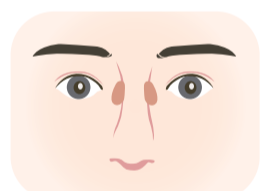
レンズ加工後の最終的なフィッティングの手順

仕上がったメガネが正しい位置でかけられるかを確認します。

レンズ加工前に調整した項目 1 ~ 4 の再確認とともに次の項目を確認します。

5 正面から見て

鼻パッドが片方だけに当たっていないか、部分的に当たっていないかなどを確認するとともにフレームの位置、傾きを確認します。レンズの中心と瞳の中心が合っているかを見ます。



6 上方から見て

左右の眼とレンズの距離が均等になっているかを確認します。



7 側方から見て

眼とレンズの距離が12mm付近になっているかを確認します。適切な傾斜角[前傾角]がついているかを確認します。



8 後方、耳付近を見て

テンプル先端部分[耳にかかる部分]が適切な位置、角度に調整されているかを確認します。



2回の調整

レンズ加工をすることによりメガネの重量バランスが変わりますので、レンズを入れる前と後の2回の調整が必要です。後だけでは正確な設計[レンズの中心位置の設定など]ができませんので、設計前のフィッティングは必要です。特に最近の高度な技術で収差補正したレンズは眼とレンズの位置が適切でないと、せっかくの高性能が活かせません。フィッティングはお客様の好み[キツイ、ゆるい]なども伺って調整します。多くの場面を想定して調整いたしますが、使用して不具合がありましたらお手数ですが再調整をお申し付けください。正しくメガネを使用している場合でも調整したフィッティングは少しづつズレてきます。

キクチはこう考えています

- メガネを作る段階ではお客様のお話をよく伺い、好み、使用場面を想定したメガネづくりをします。
- 視力、メガネについての情報提供によって快適な視生活を提案いたします。
- 定期的なメンテナンスを含めた再調整[アフターサービス]がメガネを長く快適に使用するうえで必要です。
- お買上いただいたメガネが長くご愛用いただける様、最善を尽くすことが専門店としての役目です。



 キクチの「こだわり」はこちら。